

1 留保地周辺を含むまちづくり(府中基地跡地留保地周辺地区)について

① 位置付け

令和2年3月に国へ提出した利用計画に基づき、今後、留保地の土地利用を進めていきます。一方、留保地周辺には魅力的な地域資源が点在しているため、「留保地の土地整備のみ」に留まるのではなく、「周辺地域を含めた魅力あるまちづくりを進めていくための、取組や仕組みづくり」を行っていきたくと考えています(=「府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくり(右図赤枠)」)。

本地区は、「多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針(令和2年2月)」において、「多摩の新たな拠点整備」の在り方を検討し、多摩地域全体に施策展開していく「モデル事業実施地区」に選定されていることから、東京都とも連携して検討を進めています。

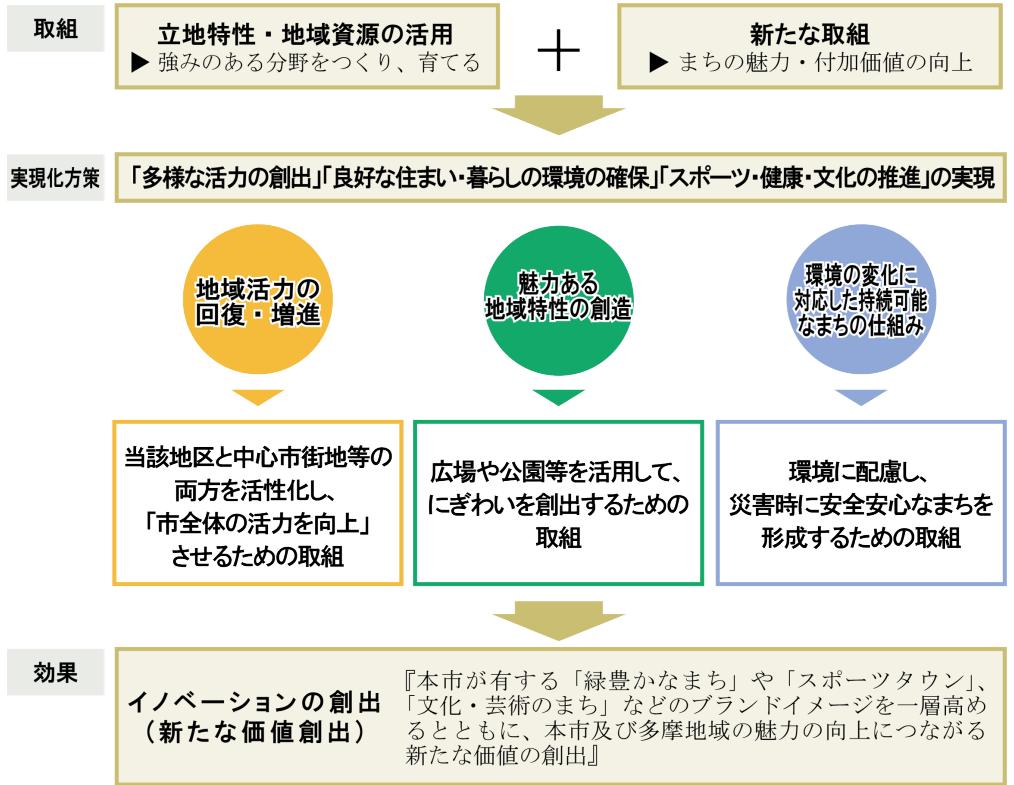
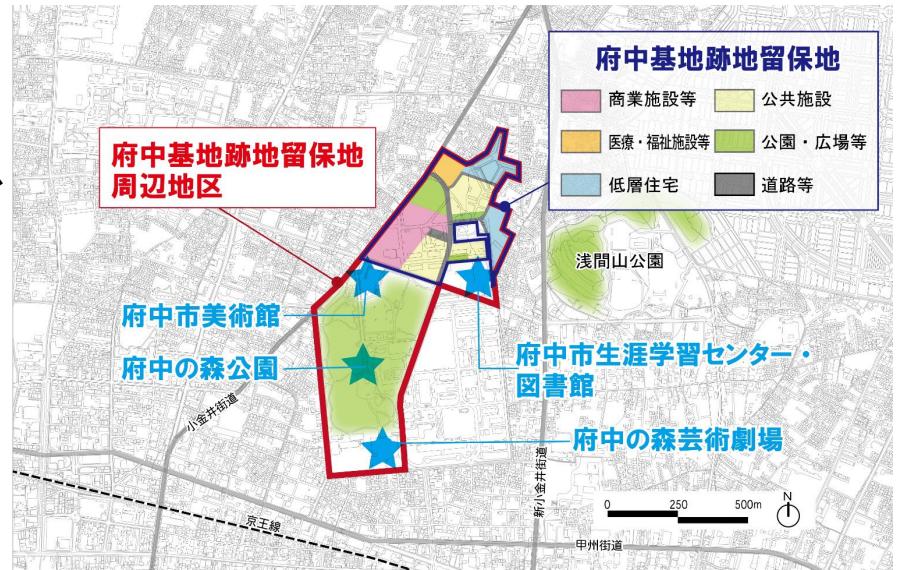
② 市が目指すまちづくりについて

「府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくり」においては、周辺の魅力的な地域資源と留保地を一体として考え、そこへ「新たな取組」を加えることで、「新たな価値の創出(=イノベーションの創出)」を目指しています。

この『新たな価値の創出』は、利用計画の目的に基づき、本市が有する、「緑豊かなまち」や「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」などのブランドイメージを一層高めるとともに、本市及び多摩地域の魅力の向上につながる新たな価値を創出するものと考えています。

現在、その実現に向けて「地域活力の回復・増進」、「魅力ある地域特性の創造」、「環境の変化に対応した持続可能なまちの仕組み」の3つのテーマを設定し、各テーマごとに具体的な取組を検討しています。

下図★印：地域資源



2 「府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくりに向けたワークショップ」の開催結果について

市内2か所で開催したワークショップにおいて、当該地区のまちづくりの考えを説明し、「3つのテーマごとの具体的な取組」について参加者からご意見をいただきました。当日は、たくさんの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。本号では、当日いただいた主なご意見の概要を紹介し(裏面参照)。

また、「当日いただいた全てのご意見」と「ワークショップ後にいただいたご意見・ご感想」については、府中市ホームページにて掲載していますので、ぜひご覧ください。

【府中市ホームページ】※URLが変わっている際は、市ホームページから検索をお願いします。

https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kekaku/tosikiban/kichiatochi/fuchukichiatochi/ryuhochimachidukuri_ws.html

開催概要

- 7月10日(土) 午後7時～9時
・会場：市民活動センター「プラッツ」第一会議室
・参加者数：15名(明星高校：6名)
- 7月11日(日) 午前10時～正午
・会場：生涯学習センター 研修室2
・参加者数：28名(明星高校：7名)

※ 明星中学・高等学校との連携事業により、各日ご参加いただきました。



市からの説明の様子(7月10日)



意見紹介の様子(7月11日)

地域活力の回復・増進

■ まちづくりポイントの活用に関する意見

- まちづくりポイントの導入
- まちの人々と協力・連携したシステム構築

■ パブリックアートの設置やまちのデザインに関する意見

- フォトジェニックなアート作品等を点在させることによる集客力の向上（設置に当たっては通行幅に配慮が必要）
- 監修デザイナーやアート作品の公平な選定
- 夜間も光るフラッグ等の設置による、美観性と安全性の確保

■ デジタルサイネージの活用に関する意見

- 店舗やイベント情報に加えた、観光案内や交通情報のリアルタイム表示
- 多言語対応やスマートフォンアプリとの連動

■ にぎわいを創出するイベントの実施と地域間の連携に関する意見

- 「中心市街地などにおける既存のイベント」と「留保地におけるイベント」の積極的な連携
- 地産地消・市民主体のイベントの実施
- ヨーロッパの街並みのようなオープンカフェや歩行者天国の実施
- マルシェ、マーケット、音楽イベントなどの実施 …等

魅力ある地域特性の創造

■ 緑を活用した空間づくりや保全に関する意見

- 生態系調査の実施と現在の自然の保全
- 自然と共生するデザインやルールの設定による、緑豊かなまち並みの形成
- 歩きたくなる道（遊歩道等）の整備
- 整備した樹木などの継続的な管理

■ 多様な人々の交流の場の整備に関する意見

- 誰もが使いやすい、インクルーシブ公園の整備
- 子供の居場所や、多世代交流の場の整備

■ 魅力を生み出すイベントの実施や施設整備に関する意見

- オープンカフェ、マーケット、野外シネマ、ポップアップショップ、市民主体のイベントなどの実施
- 農業に関するイベントや取組の実施（地元農家のファーマーズマーケット、農業体験、東京農工大学との連携など）
- スポーツに関連するイベントの実施（パブリックビューイング、ラグビー、馬など）や、施設の整備（球場、クラブハウス、ジョギングコースなど）
- アートに関する施設の整備（アート広場、アートボードなど）
- バーベキューやキャンプなどが楽しめる場の整備
- 地域の歴史・文化を発信・体験できる場の整備 …等

環境の変化に対応した持続可能なまちの仕組み

■ 環境に関する意見

- 持続可能な地域づくりやスマートタウンの形成
- CO₂排出量削減等の環境に関する目標設定や、ルールづくり
- 再生可能エネルギーの利用や、エネルギー供給システムの導入
- 電気自動車や水素燃料自動車の導入
- シェアサイクル等のシェアリングモビリティの導入
- グリーンカーテンやミストシャワーの設置
- 無料の給水所の設置
- 地域の企業（東芝・NEC）や、環境・防災系の大学研究室との連携

■ 防災に関する意見

- 防災センターや避難場の整備
- 非常時の電源供給システムの導入
- 商業施設等との防災協力協定の締結
- 災害時の自治や組織づくり
- 防災マップの作成
- 防災を啓発するイベント（防災キャンプ等）の実施
- 水害へのハード・ソフト面での対策 …等

この他、たくさんのご意見をいただいております。

3 今後の進め方について

今回のワークショップで皆様からいただいたアイデアを踏まえて「まちづくりの方向性のイメージ」を検討し、技術的事項を含めた内容を、「ガイドライン」として取りまとめてまいります。

「当該地区のまちづくりの方向性のイメージの検討」や「ガイドラインの作成」に当たっては、改めてご意見をお伺いする機会を設けたいと考えておりますので、引き続き、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

今回

周辺を含むまちづくりのアイデア出し

周辺を含むまちづくりの方向性のイメージ
(今回頂いたご意見を踏まえ、市で検討した内容を検討)

ガイドライン
(まちづくりの方向性のイメージを含むガイドラインを作成)

お知らせ

令和3年8月5日の日米合同委員会にて、府中基地跡地留保地のほぼ中央に位置する、米軍府中通信施設の土地及び建物等の全部について、令和3年9月30日までに日本に返還されることが合意されました。今後、当該地の取扱いについて、動向を注視してまいります。